

心をこめて「いただきます」「ごちそうさま」を

私たちは、普段きづかないところで、多くの人たちに支えられて生活をしています。給食を例にとってみても、多くの方々がみなさんが元気で毎日を過ごせるように、献立をたてたり、調理をしたり、野菜を作ったりしてくれていることがわかります。直接お礼を言える機会は少ないですが、食べる前、食べた後のあいさつで、こうした方々への感謝の気持ちを伝えたいですね。



「いただきます」という言葉にこめられた意味

私たちが毎日食べている肉・魚・野菜・果物は、みんな生きています。その命をありがたくいただきます、という感謝の気持ちがこめられた言葉です。

「ごちそうさま」という言葉にこめられた意味

「ごちそうさまでした」の「ちそう」は、走り回るという意味です。昔はお客様をもてなすために、海や山までおいしいものを探しに行かなければなりません。「ごちそうさま」には、「私たちのために準備をしてくださってありがとう」という意味がこめられています。



11月23日は、勤労感謝の日です * * * * *

みなさんのために働いてくださっているお父さん、お母さんなど、さまざまな人たちに感謝をする日です。食事の準備などのお手伝いをして、普段の感謝の気持ちを伝えましょう。



歯を大切にしていますか？

こんな食生活はむし歯の原因になってしまいます！



・甘い菓子や飲み物のだらだら食べ

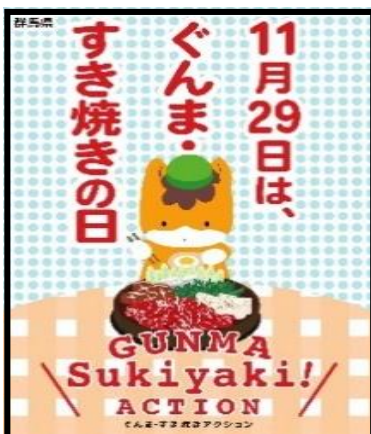


・歯みがきはめんどうだからしない



・あまりかまなくても食べられるやわらかい食べ物が好き

ぐんま・すき焼きアクションに参加しています



群馬県では、11月29日を「いいにくの日」にちなんで、「ぐんま・すき焼きの日」としています。すき焼きは、全ての食材が群馬県産でまかなえる料理です。群馬県ならではのおもてなし料理となるよう、県をあげてプロジェクトを立ち上げています。

給食でも「すき焼き風煮」が登場します。群馬県産の豚肉と野菜をたくさん使ったすき焼きになっています。お楽しみに♪

